

商工会報

あち

第22号

発行 阿智村商工会
43-2241
編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)



事業所健康診断

従業員の健康管理は大丈夫？

従業員を雇っている事業所の健康診断は義務付けられていますが、健康診断を行ってもやりっぱなしになってしまうことが多いのではないのでしょうか。

商工会では、毎年行っている健康診断の後に、今回健康相談日を設けました。多くの事業主さんが出席し、従業員の健康についての感心の高さが感じられました。

商工会では、厚生部の事業として、村内事業所従業員を対象とした健康診断を実施していますが、今年も、村の助成を受け、去る七月五日と十九日に行いました。一日は商工会館で、もう一日は昼神観光センターで行い、二日間で四三六人が受診しました。

結果として、再検査を必要とする方が多く見られた事、専門的な指導を希望する声があった事などから、保健婦さんによる健康相談日を設けました。当日は、村から二名、飯田保健所から一名、計三名の保健婦さんをお願いし、各事業所の代表者に、健診結果を基に個別指導をしていただきました。

指導に当たった飯田保健所の田中さんに、感想をお聞きしました。

「説明会に見えた方々が、予想外に、事業所内一人一人の実態をつかんでいて、驚くと共に感心しました。例えば、この人はよくお酒を飲む人だとか、事務でほとんど体を動かさず、休憩時間にも運動のようなどとはしていないなど。おかげで、一人一人の仕事内容や実態を知ることができ、それを踏まえながら、健診結

果を見ることができました。職場の実態をお聞きし、こちらからはデータの裏付け等体の原理を伝えるといったやり取りができ、一緒に考えることができて、手答えを感じました。ただ聞いて帰ればよいというのではなく、自分以外の人についても、他人事とせず、真剣に考えている姿勢に感心しました。出来る事なら、代表者だけでなく、当人も参加しての説明会にしたなら、驚きや気付きが、更に自分達のものになり、実際に活かしていけるようになるのではないかと思います。説明会を、職場ごとの学習会形式にしてみてもどうでしょうか。効果が上がるのではないかと思います。」

又、村の保健婦さんからは、運動不足や、缶ジュースや健康ドリンクの飲み過ぎ、去年の健診で、再検査が必要とされながら、そのまま受けていない人がいた等指摘がありました。要再検と結果が出ていて、まだ受けていない人は、早めに検査を受けましょう。



信金だより

『高利回り新商品
ス・パー定期発売』
十一月五日から自由金利型定期預金(M型)「しんきんス・パー定期」のお取扱いを開始しました。

しんきんス・パー定期は金融実勢に応じて当金庫が利率を決定する大変有利な高利回り定期預金です。

お預け入れ金額は一口三百万円以上で、お預け入れ期間は個人は三カ月以上三ヶ月以内、法人は三ヶ月以上二年以内で自由にご指定いただけます。効率的な資金運用ができます。

又、三カ月・六カ月・一年・二年・三年の定型方式五タイプは、自動継続や総合口座へのセットもできて大変便利です。

ご預金はまとめるほど有利になります。

この機会にお手持ちのご預金をぜひしんきんへおまとめいただきますようおすすめします。

更に、一千万円以上は「しんきん大口定期預金」が一層有利な高利回りをお約束いたします。

各部会実施事業の紹介

金融状勢の

正確な把握を

経済部長 小松勝文

阿智村商工会特異の行事である、経済部主催の金融懇談会が十月二日「ひるがみの森」で開催されました。

今年で八回を数える伝統あるこの行事も、昨年度は少し趣向を変えて、国民金融公庫伊那支店を訪ね、視察研修の方法をとりました。

しかし今年は例年に戻って金融機関の代表者をお招きしての金融懇談会としました。

地方事務所商工担当者、国民金融公庫、保証協会、信用金庫、八十二銀行、阿智村農協の代表者、岡庭商工観光課長のご参加をいただきました。それに商工会正副会長、経済部員、事務局と総勢十八名で開催しました。

まず各代表の皆さんより最近の経済、金融情勢、それに今後の見通し・対策等をお話しいただきました。その結果、皆さんから共通して出された話題は、長期持続してきた好景気にも、バブル

経済の破綻に見る様にわずかずつながら陰りが見え始めている。したがって今後の状勢動行を慎重に見極めて判断する必要があるという事でした。又公定歩合の引下げも近い内に行われるだろうとの見通しでした。

来々四月開通される園原インターチェンジ、及び三遠南信自動車道の開通をひかえ、大きく変わろうとしている伊那谷をどの様に発展させて行き、経済効率を高めるかも議論され、関心の高さを示しました。

又農業と工業、そして観光をどう結びつけ経済効果を高めるか話し合われました。いずれにしても自然を残し、やすらぎのある阿智村づくりがこれからのニーズに対応できる一つの条件ではないかというのが一つの結論でした。

今年も例年になく中味のある懇談会となりました。継続は力なりと言われますが回を重ねるごとに高度な議論がされる様になりました。阿智村の商工業の発展に不可欠な行事となった感があり

ます。

一方、同じ十月二十八日、「一日国金」と題して国民金融公庫の宮崎次長さんと、井原調査官をお願いして、借入金の相談日を開設いたしました。当日は窓口相談と巡回相談に分けて、国の事業資金として、運転資金・設備資金等の相談に応じ、その場で決定いただくというものでした。

商工会では常に、国、県、村制度資金の他貯共資金等、低金利な資金の斡旋相談に応じておりますので気軽に相談されますよう申し添えます。

温泉組合との

懇談会と

観光先進地視察

観光部長 杵鞭邦治

平成三年度観光部事業の新しい試みとして、去る九月九日昼神温泉組合と村からは岡庭課長をまじえ懇談会を観光センターに於て開催しました。

主な協議事項は次の通り
一、人的資源の確保
従業員が永住出来る様な環境整備（住宅の確保、保育園が近い、買物が近くで出来る若しくは駒場までの交通の便がよい等生活圏の確保）

二、四季を通じ招客できる環境整備（園原インター完成後は園原史跡のPR、看板及び道路標識の設置及び増設、特産品の開発）
三、下水道の完成（平成五年に着工、平成八年完了）
四、二十七軒の旅館組合は目標を宿泊客六十万を見込んで地元経済への還元も考え日夜努力をしておりますので阿智村商工会も観光資源の開発、イベント等も合同で出来るものには応援をし、共々生きる道を考えてほしい等々、時間のたつのも忘れるほど熱の入った懇談会でした。

十月二十九日阿智村観光協会と共に岐阜県吉城郡上宝村に先進地の視察を行いました。

当温泉郷は（平湯、新穂高、新平湯、栃尾、福地と五つの温泉地域を含め）奥飛騨温泉郷という。歴史は古く元禄三年には円空が湯治に訪れ、禅通寺に一年余り逗留した事跡がある。

冬のスキーに始まり（四つのスキー場）、新緑の春から夏への避暑、秋の紅葉、登山、保養、観光と客層は広く、昭和六十年に入込客数は一〇〇万人を超えた。上宝村観光協会とのお話を聞

くなかで主な点は次の通りです。

一、雇用問題の対策
雇用の確保、住宅の施設整備慢性的な労働力不足と従業員自体の高年齢化は今後一層深刻化しているのが現状です。
二、四方を山に囲まれ地場の特産品の目玉となるものがない
昼神温泉旅館組合との懇談会つづいて奥飛騨温泉郷へ視察を終え、今一番のなやみは人的資源の不足はどの業者とて苦労の種だと思いました。

今後従業員確保のため住宅施設の充実と共に、宿泊サービス業が魅力ある職場として従業員確保が出来るように商工会としても行政に働きかけ、長期計画の上で先手必勝、一つ一つでも早期に着工すべきだと思えます。又業者自体も資質向上に推進すべく努力すべきを痛感しました。



奥飛騨慕情の歌碑前にて

情報の提供を 工業部会

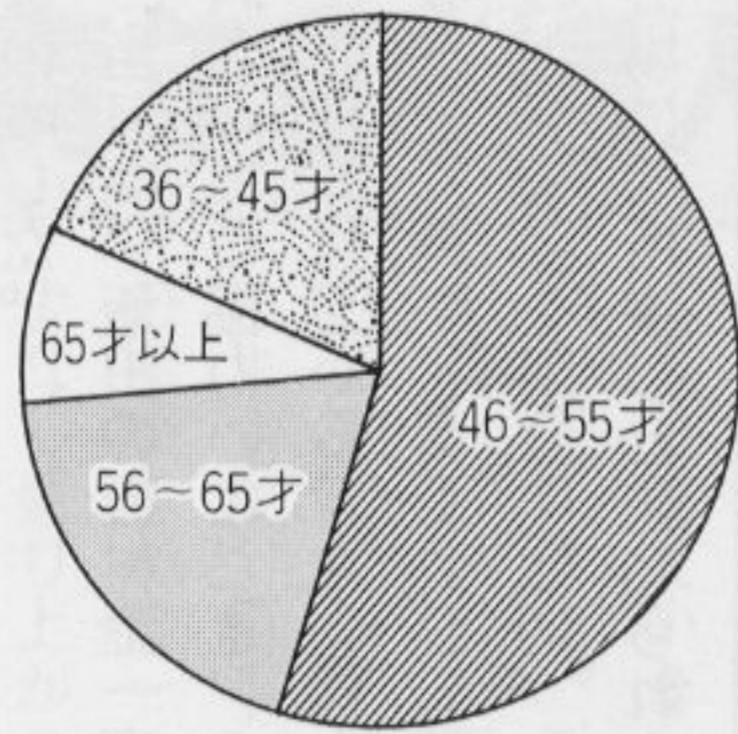
本年度、工業基盤整備強化事業の推進について、村から工業部を中心とした組織に、その調査研究が依託されました。それに基づいて工業部で検討の結果、阿智村第二次産業の育成、発展策の基礎資料にするよう、非会員も含めて工業に関連する村内78企業の皆さんに協力をいただき、アンケート調査を実施致しました。

その結果の主な内容は次の通りです。

◎回収率40%

◎回答企業代表者の年齢

36～45才	一六%
46～55才	四五%
56～65才	一六%
65才以上	七%



◎工業振興について

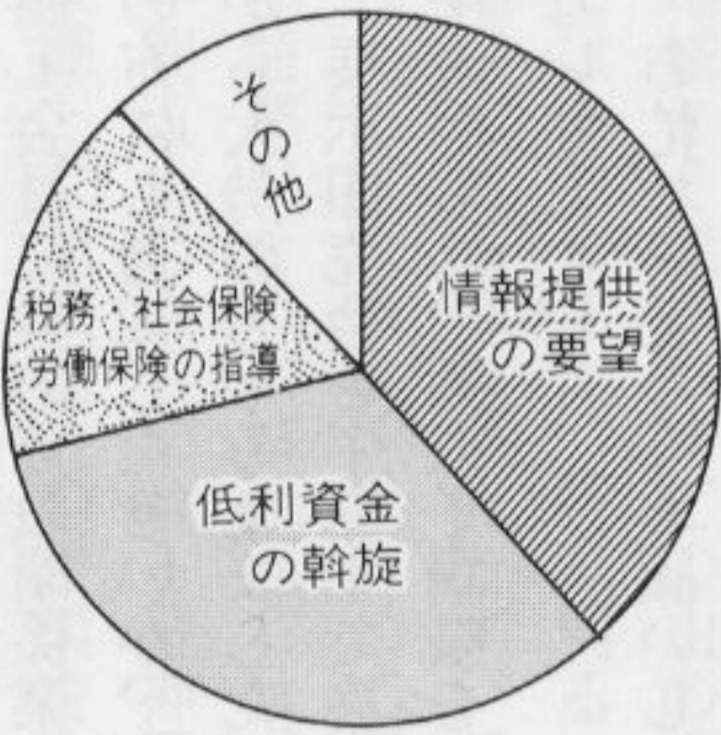
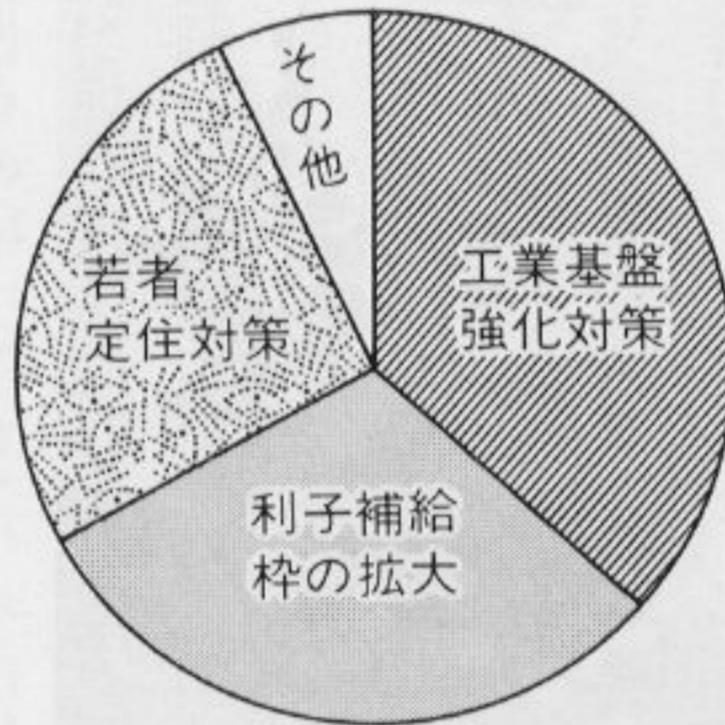
行政への要望	三三%
工業基盤強化対策	三八%
利子補給枠の拡大	三三%
若者定住対策	一七%
その他	一二%

工業部会

◎工業振興について

商工会への要望

情報提供の要望	三七%
低利資金の斡旋	三〇%
税務・社会保険・労働保険の指導	二六%
その他	七%



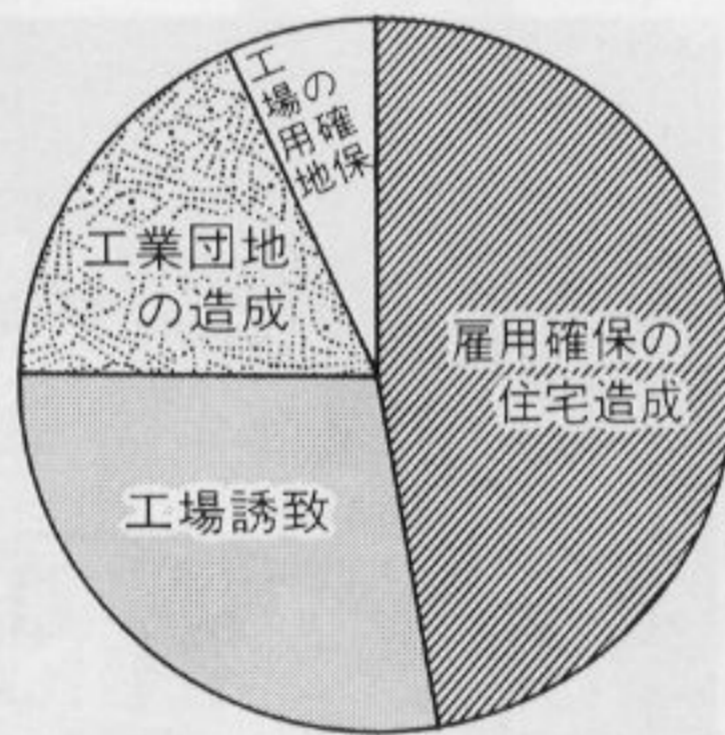
情報提供の要望が大勢ありました。商工会では、できる

限り情報を皆様に伝える様に努めておりますが、金利・仕事の受発注、景気の動行等常に変化をしておりますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

◎村の工業振興上

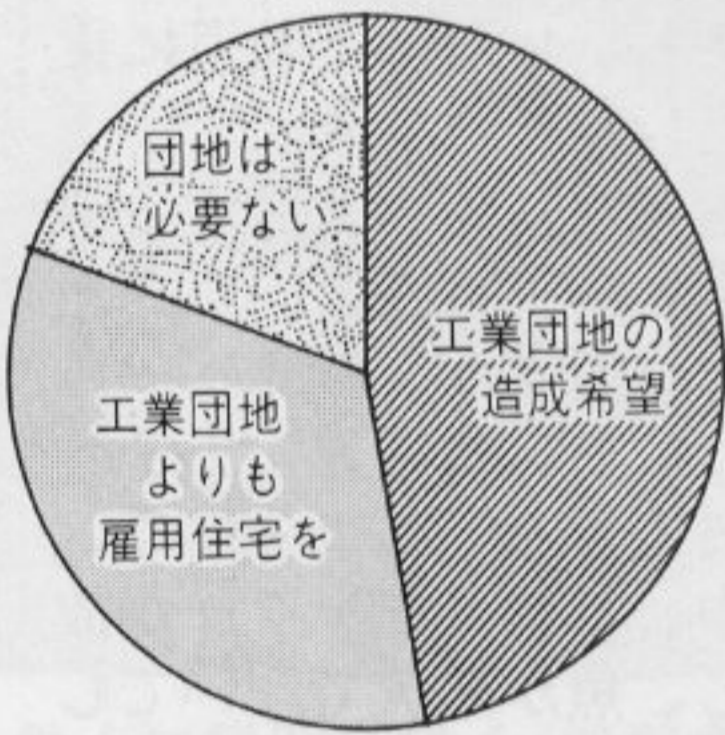
先づ手がけたい事は

雇用確保の住宅造成	四八%
工場誘致	二九%
工業団地の造成	一八%
工場用地の確保	七%



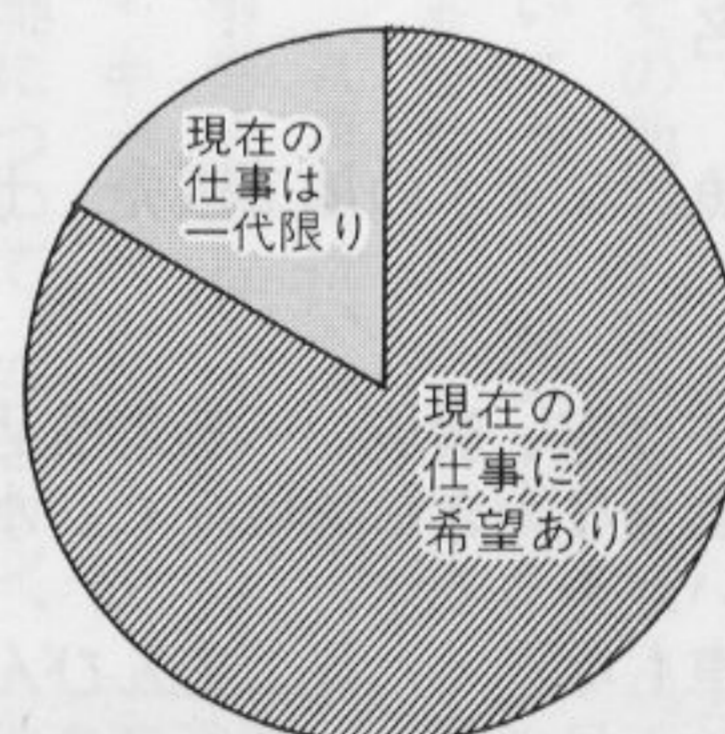
◎工業団地の造成について

工業団地の造成希望	四七%
工業団地よりも雇用住宅を	三三%
団地は必要ない	二〇%



◎現在の事業の存続について

現在の仕事に希望あり 八三%
現在の仕事は一代限り 一七%



村の中にも

観光資源が

サービス部会

お忙しい中アンケートにご協力下さった皆さん、ありがとうございました。

昼神温泉を訪れるお客様も年々増加の一途をたどり、現在では、五十四万人に達する程になりました。

とりわけ、昨今の観光客の目的も、観光に、保養に、食事にと多様化する中で、接客に携わる方も、豊富な知識を蓄えなければならなくなりました。

そこで、サービス部では、村内の観光資源を、接客に携わる方に、じかに知ってもらおうと八月二十七日、村内の

観光資源めぐりを行いました。当日は、村の文化財副委員長の前原隆夫さん、商工観光課長の岡庭一雄さんに説明を願い、丸一日、名所・旧跡や今後の開発予定地を視察しました。

主な視察場所は、栗矢の廻り舞台、法力様、肥後観光農園、伊賀良神社、斗字庚申、普門院三十三観音、長岳寺、安布知神社、木槌山観照寺、浄久寺、頭権現、馬頭観音、阿智神社奥宮、神坂神社、はきは木、暮白滝、月見堂等とかなりハードな日程でした。参加者は、旅館業の方が多く、カメラやビデオを持参して、お客様への対応にと熱心に説明を聞いていました。



観光案内に役立てようと熱心に説明を聞く参加者

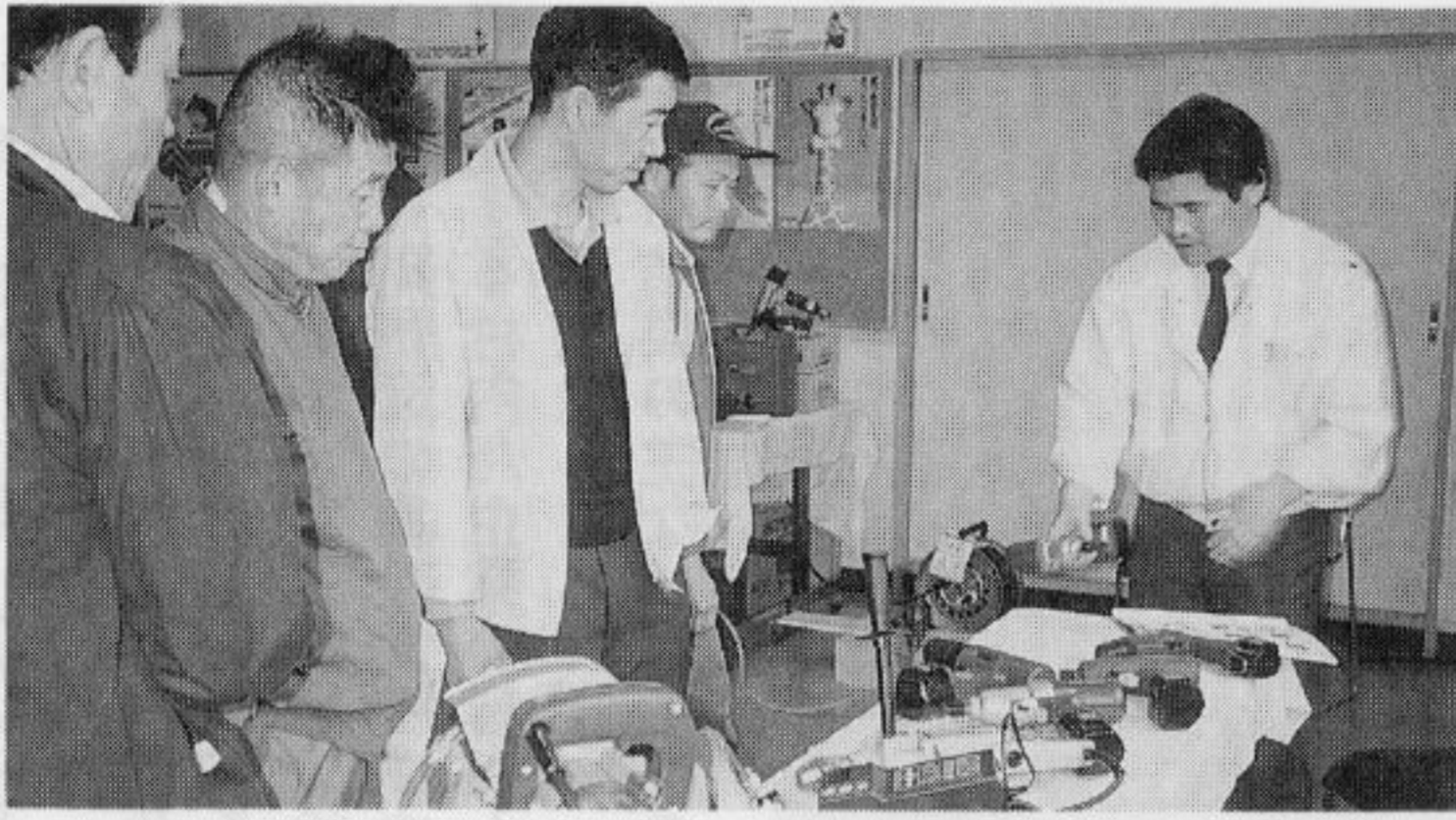
道具を買って

商売繁盛祈願

建設部会

年々、参加者が減少している。御太子講祭に併せて、建設部では今年初めての試みとして、建設関係業者を対象に工具及び機械の展示即売会を去る十月二十七日(日)に行ないました。

当日は、飯田の吉村金一商店さんにご協力いただき、のこぎりの替刃から、大小様々な電動工具が、商工会館二階の大会議室を半分に仕切った会場に、所狭しと並べられました。



ドリル一つにしても色々あるんですね(写真上)
厳肅な雰囲気の中挙行された御太子講祭(写真下)

した。

今年は通知範囲を拡大し、商工会員以外の建設関係業者の方にも通知したせいか、朝から大勢の方がみえました。

展示即売会を午前中で終え午後からは、御太子講祭を行ないました。

お忙しいところお願いした倉田宮司により式典が挙行され、終了後の懇親会も盛大に行なわれました。

「神だのみの時代は終わった」という声も聞かれますが、伝統行事を継承していく為にも、今後ともご協力をお願い致します。



企業探訪

No.20

淡水魚 養殖・加工

湯川沢

秋も深まり、肌寒さを感じる10月半ば、お忙しい中、時間をさいいただき、現在の事業主である、原裕士さんにお話を伺いました。

- <代表者>原 裕士
- <創業>明治20年
- <従業員>7名
- <業務内容>

鯉、鰻、山女魚、なまずの加工販売。土産用鯉の旨煮真空パック販売。

<主な取引先>

昼神温泉ホテル旅館、農協、一般飲食店等。

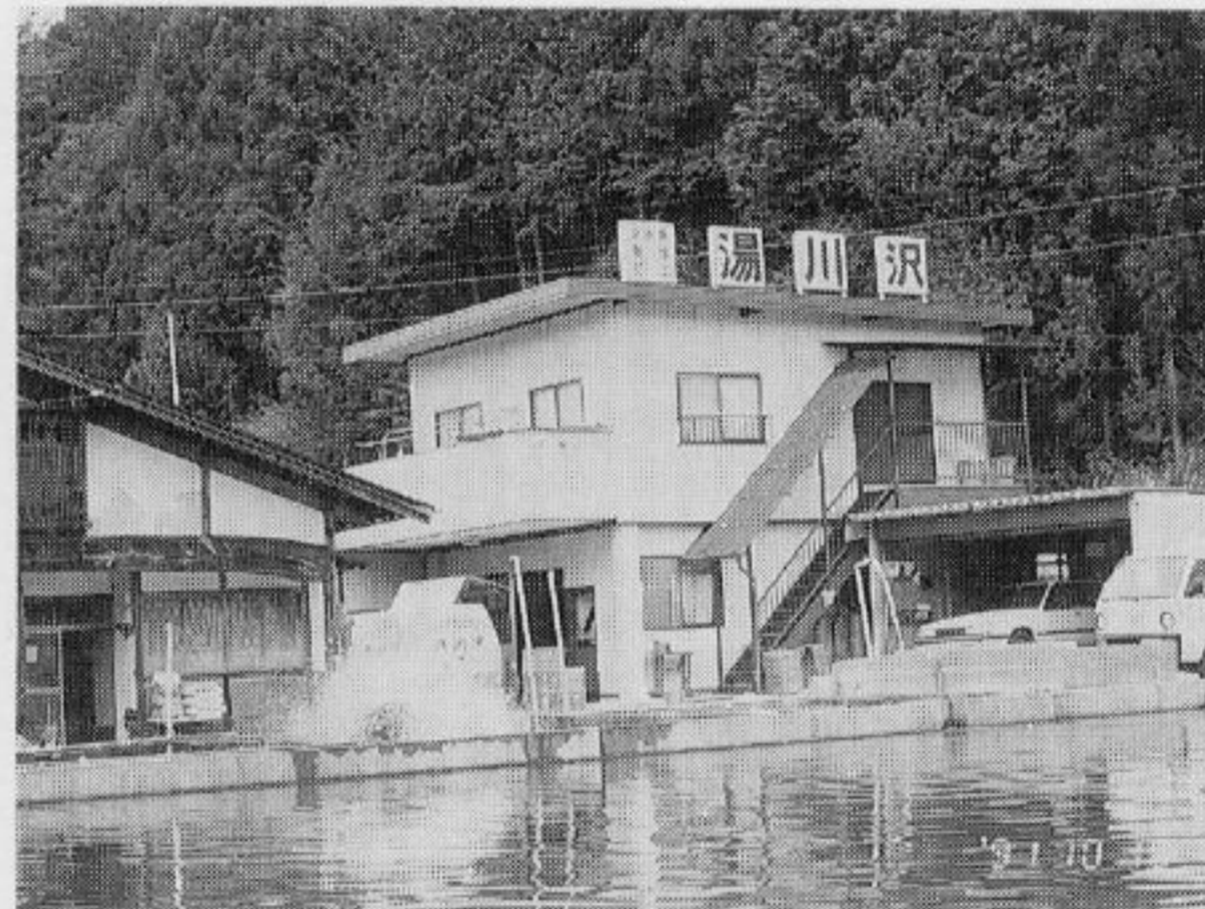
当初は、今のような大きな池はなく、水田に鯉の稚魚を放し養殖していたそうです。

当時は、自動車もなかった為、てんびん棒で、桶をかつぎ、祝い事や、正月の魚として行商を行ったり、下伊那地方の祭りをすべて調べて、売って歩いたこともあったそうです。

その頃は、阿智村にも同業者が何軒かあったそうですが現在では、鯉の養殖は、湯川沢さん一軒になってしまったとのことでした。

鯉を手放さずにいたおかげで、三代目の敏夫さんの時に昼神温泉が出て、ホテルや旅館に鯉を卸すようになってからは、大変忙しくなり、田畑などはとてもやっつけられなくなったそうです。

現在では、生き鯉だけでなく、切り身や旨煮、あら塩焼き等、加工した物の出荷が増えてきているとのことでした。又、平成2年より開始した土産用の旨煮真空パ



ックも、しだいに軌道に乗りだしたそうです。

何と言っても苦勞する事は相手が生き物ということだそうですが、例えば、入荷しても、水の違いで2~3日で死んでしまったり、夜中、水車のモーターが故障し、魚が酸欠で浮いてしまったりした事が何度もあったそうです。その他では出荷する魚の成長や、身の

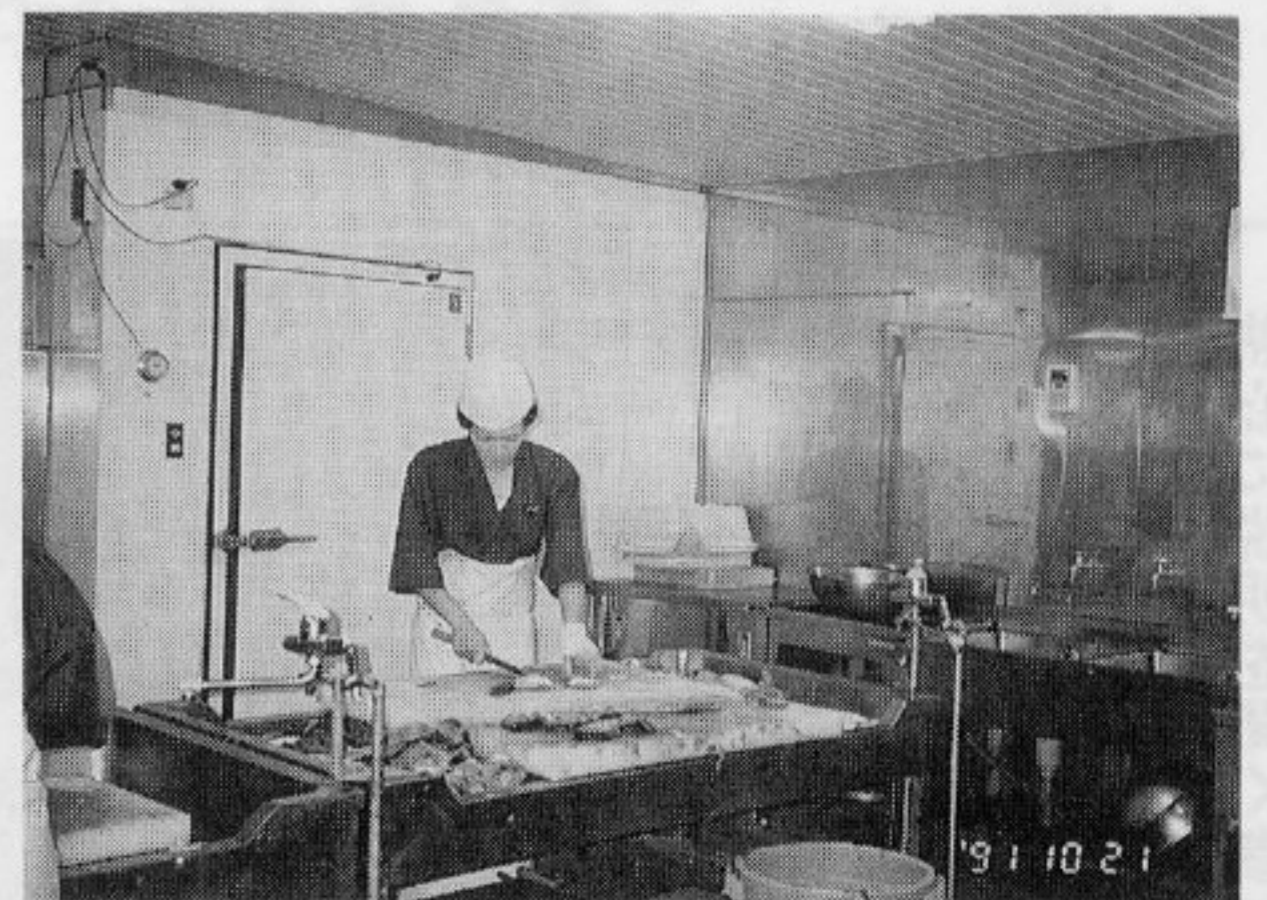
しまり具合には大変気を遣っているそうです。

しかし、遠くから来た旅行客に、伊那谷の代表的な郷土料理である鯉を、喜んで食べていただける事は、とてもありがたいということでした。

今後は、なるべく早く法人組織とし、従業員の福利厚生面での充実や、生活の向上等を考えていきたいそうです。

又、商売の上でも、地域の皆様のおかげで働かせていただいているという気持ちを忘れずに努力して行きたいと話しておられました。

冷凍食品等も大変増えてきた時代ですが、より新鮮な魚を消費者に提供していただきたいと感じました。



調理場風景

部長から一言

青年部長 宮嶋芳章

時の経つのは早いもので私が商工会青年部にお世話になる様になってから十余年に成ります。此の度阿智村商工会青年部部長と言う大役を仰せつかり、誠に私には不相応と恐縮しております。しかし、

青年部・婦人部だより

大役をお受けした以上は、商工会の皆さん又、諸先輩方の名を傷つけない様、部員の方々の協力の元、一致団結して青年部を盛り上げていきたいと思ひます。近年若い方が、入部して来てくれてはいますが、行事への参加者が今一つ少なく盛り上がり

に欠けるのは、非常に残念に思われます。それと言うのも商工業者として、休日が一致しないと言う事もあり、仲々全員が揃って行事(研修旅行、阿智夏祭りの夜店、村民運動会、阿智祭りの夜売店、又ボランティア活動として村内の空缶拾い、慰労会を兼ねての茸狩り)等、の活

動が出来ない事です。それには本村が、他の地域に比べて環境に恵まれていると言う事があるかもしれません。と言うのも、先日松本で商工会青年部主張発表会がありました。内容の多くは青年部活動に参加してという題で、過疎対策として地域振興、CI事業に取り組んでいる様子の発表でした。

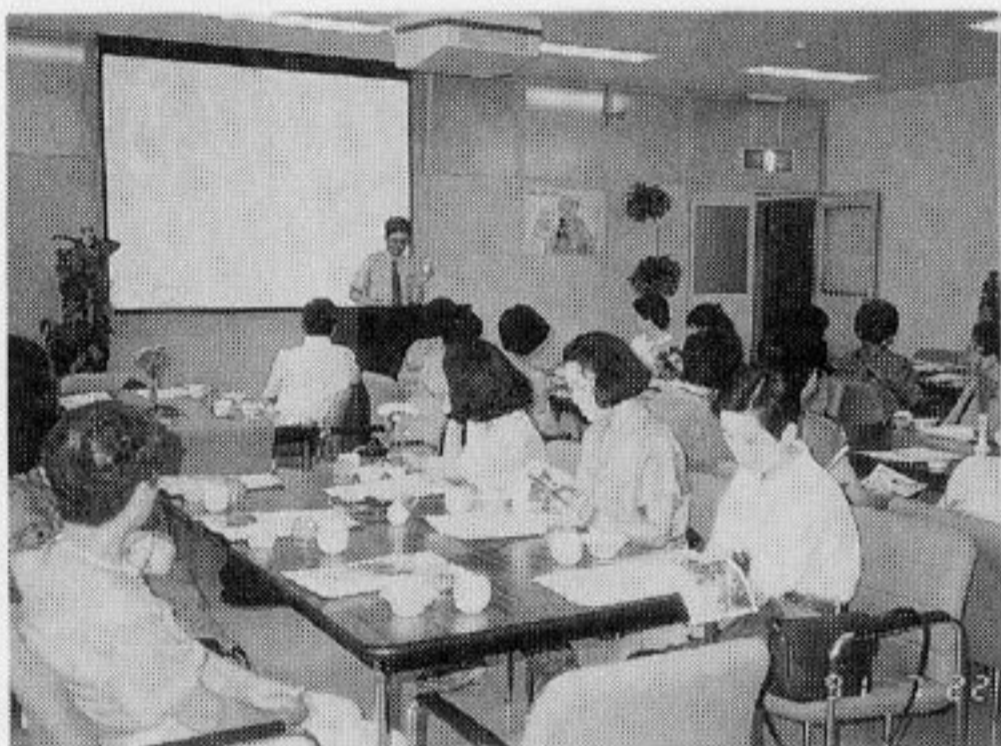
又長野方面へ視察研修旅行がありまして、人口二千人から四千人という村を回り、商工会の職員の方とお会いして、過疎地の現状と地域CI事業等に取り組んでおられる様子を伺うかがいすると、その村の皆さんが村おこし対策に、真剣に取り組んでおられる様子を、強く感じました。本村は国道一五三号線に二五六号線と中央自動車道にインターチェンジと揃い、又近い将来の三遠南信自動車道と地域こそ南信の果ての山の中ではありませんが、将来明るい地域である事は事実です。又地元には大きな工場として盟和産業、それに観光面では、年間五十万人も訪れる昼神温泉郷と、地域発展の要素を十分に持ち、非常に将来楽しみな地域であります。

この様なこの地に居る私達青年部は、恵まれた条件を利用して、色々な行事に参加し事業活動に部員が全員力を合せて村の発展、地域の人々の結び付きを強めるようにしたいと思ひます。今日まで諸先輩の部員の方々も忙しい中、事業・行事に活動され、表彰までされている、名誉伝統ある青年部であります。私も部員の皆さんと力を合せて活動をしていきたいと思ひます。どうかよろしくお願い致します。

婦人部 活発に活動しています

婦人部では、今年も当初の計画に基づき、事業を行なってきました。

七月二十二日には、「かんてんぱぱ」で有名な「伊那食



熱心に説明を聞く(伊那食品にて)

品工業(株)を視察し、又、高遠町商工会では桜の花の塩づけ「桜志津久」と、紅花染「湖衣姫ふくさ」を商品化するまでの苦労話や、その他婦人部活動について意見交換を行ないました。

八月には、県下統一事業である「クリーン・キャンペーン」の実施について、空きカン、空きビン入れを設置しました。回収箱は、タバコを大詰めする大型のボール箱を活用した、役員手作りのものです。昼神温泉郷内等、村内数ヶ所に八月末まで設置し、期間中数回収しました。空きビン、空きカンの他に、生ゴミ、紙おむつまで捨てられ



役員苦心の作です。

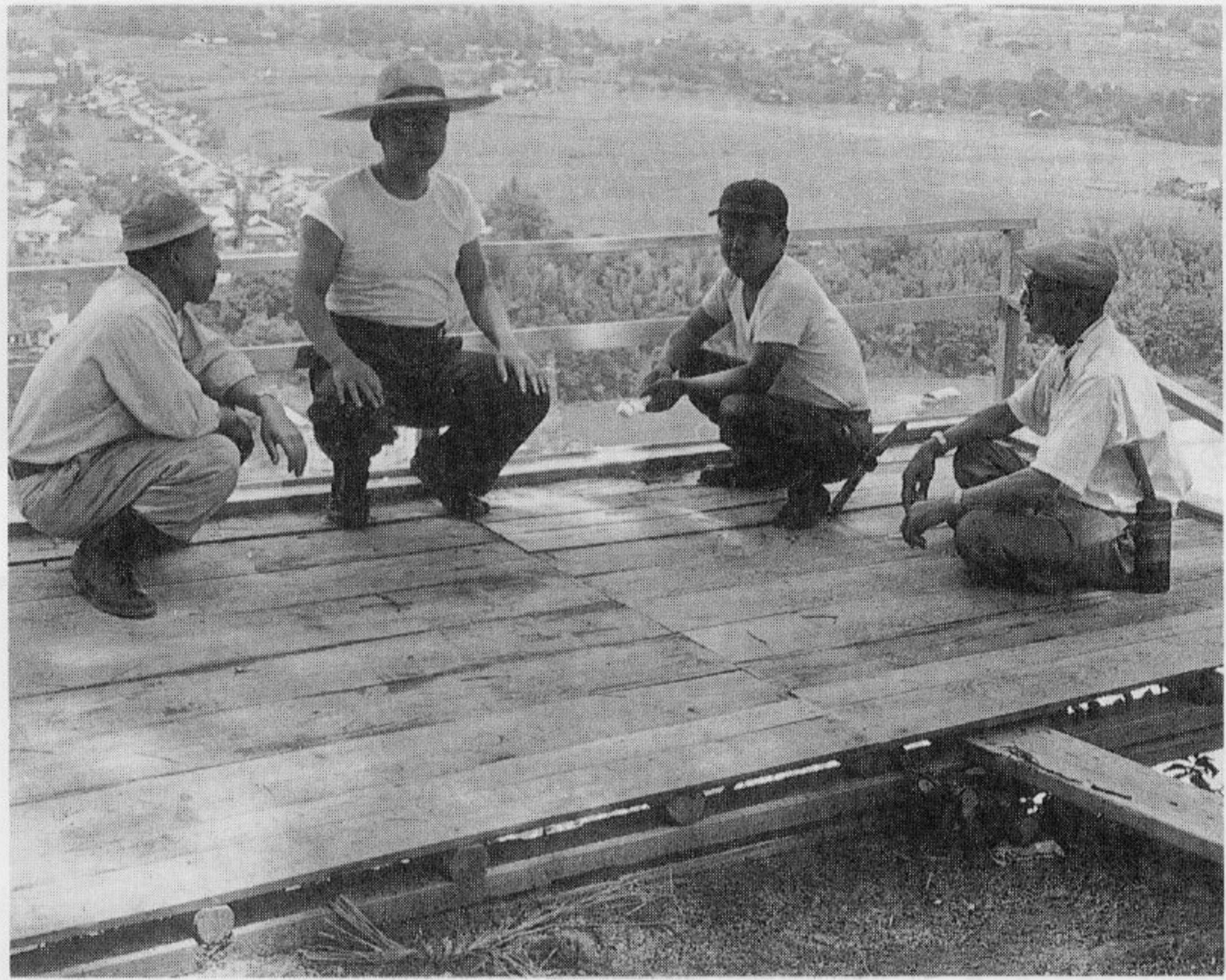
せられました。



大繁盛の阿智祭でのバザー

十一月に行なわれた「阿智祭」へは、バザーで参加しました。婦人部としては、昨年が続いて二回目です。昨年同様「おやき」と、今年は「おでん」にも挑戦しました。昨年の反省から、「おやき」は数日前に作って、冷凍保存しておき、当日は蒸かすだけになりました。又、「おでん」も前日に仕込み、当日は温めて、甘味噌を掛けて販売しました。昨年同様「おやき」の中味の野菜等は、部員に呼びかけ無償で提供していただきました。売上金の一部は、村を通じ、社会福祉へ役立てていただく様考えています。

シリーズ 我が家の秘蔵写真 第十回



あずま屋建築中 (昭和34年頃)

駒場、稲石の岡本みどりさん、祐治さん、多美さんにお話を伺いました。

戦後の混乱が、しだいに安定して、人々が落ち着いてきた昭和三十四年頃、当時としては、今のように、ゴルフ等の娯楽は全くなかった為、近場の城山公園は、春のお花見や、秋の紅葉見物などの家族

づれや、都会から旅行などで来たお客様の接待等で大変賑わっていたそうです。

そんな時に、せっかくこれだけの人が登るのだから、何もなくてはいられないという事で、商工会や近所の人からの要請があり、稲石さんが、お店を出すことになったそうです。



城山公園での五平餅焼き

稲石さんでは、あずま屋と簡単なお勝手を作り、五平餅(信玄五平と言ったそうです)や、おでん等をメインにお酒等も出し、春から秋にかけて営業していたそうです。

当時の城山公園には、電話などはなかった為、通信手段として、昼間は手旗を、夕方になりあたりが暗くなると懐中電燈を振り、その合図で、下のハイヤーが迎えに登って行ったそうです。

城山公園での営業も、四、五年行ったそうですが、登る人もしだいに減ってきたり、料理店の方も忙しくなり、やむなく閉店したとのことでした。

現在でも、城山に登る人はあまりいませんが、せっかく立派な公園や、あずま屋があるのだから、昔のように、たくさんの方が行って楽しめる何かを考えてみたいと話して下さいました。

平成三年度 各種表彰者紹介

県連法制度化三十周年記念長野県商工会大会が、十月三十日小諸市に於て開催され、その席上で永年に亘り商工会青年部及び婦人部役員として貢献された皆さんが、県連会長から表彰をうけられました。

その中で阿智村商工会では、次の八名の皆さんが受賞されました。

(敬称略)

◇青年部 虎岩良知

◇婦人部 征矢かつ子

水上幸美 岡本多美

後藤チズ子 小原英

伊藤綾子 渋谷富美

尚商工会珠算検定実施

三十周年記念に当り、珠

算検定の功労者として、

阿智珠算塾の井原とみえ

さんが、全国商工会連合

会、会長表彰を受けられ

ました。

受賞されました皆さん

の、今後益々のご健祥と

商工会への一層のご指導

をお願い致します。

支会だより

伍和支会

ボケ防止のお参りと カニ料理に舌づつみ

伍和副支会長

田中 嘉治

伍和支会では大きな事業の一つ、家族、従業員の一日親睦旅行が、十月二十七日の日曜日に大人二十人、小供二人に参加していただき盛大に実施できました。

早朝六時河内出発、あいにくの雨模様の天気でしたが、車中はアルコール等も入り外の天気とは対照的になごやかな明るいムードになりました。

目的地の福井大安禅寺に着いた頃にはすっかり雨も上がり、名物和尚は留守でしたが幸いにビデオにて座禅の足の組み方の教えの様にそれぞれ皆足を組み合せたが、常日頃の運動不足のためか、なかなか教えの様に出来ず、とても滑稽な動作だったと思います。

大安禅寺は福井藩四代藩主松平光通公(徳川家康の曾孫藩祖秀康の直孫にあたる)の由緒あるお寺で、健康祈願やボケ封じ祈願をし、年のせい

を買い求めお寺を出発しました。

北陸海岸通りに出て、越の本陣で日本海岸ならではのカニ料理を腹十二分に戴き越前岬で全員の記念撮影をし、海岸有料道路を走り無事帰宅しました。

秋の一日を有意義に過ごす事が出来ました。



神妙にボケ防止祈願?



新春講演会・新年総会のご案内

恒例となりました新春講演会と新年総会の日程が下記のように決まりました。

講演会の講師には、テレビでおなじみのNHKエンタープライズキャスターの勝部領樹氏を迎えて茶の間からみた、日本や世界の時局を語っていただきます。

この講演会は、商工会員以外の方でも聴講できますのでお気軽にお越し下さい。

講演会終了後は、引き続き会員新年総会を行ないますので併せてご出席下さい。

なお、講演会間近になりましたら、チラシをお配りします。

日時 平成4年1月17日(金)午後1時15分

場所 阿智村商工会館

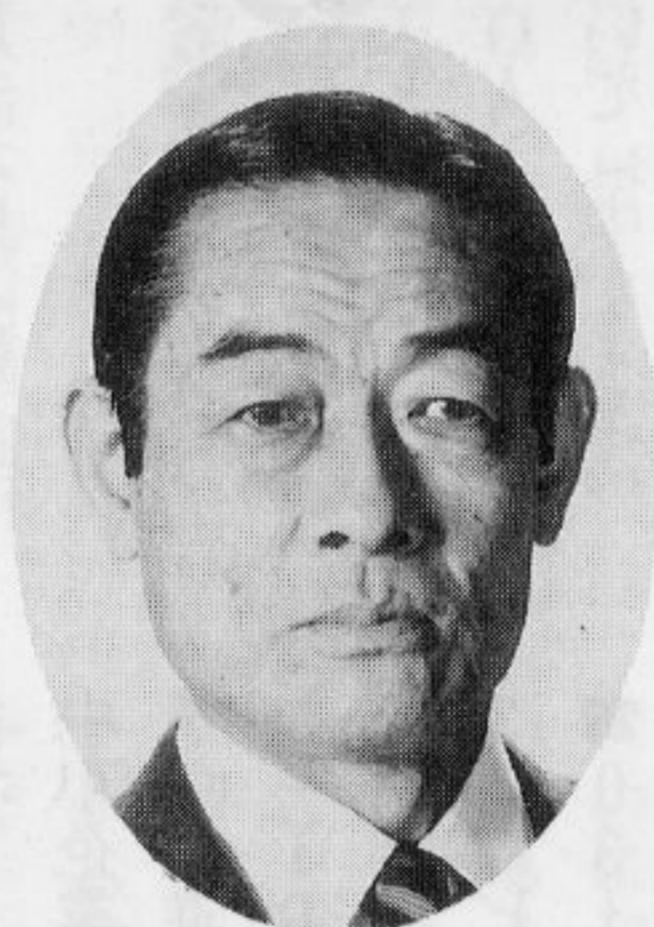
テーマ 「茶の間から地球を視る目」

講師 勝部領樹 NHKエンタープライズキャスター

<プロフィール>

NHKテレビの特集番組で活躍するおなじみのキャスター。

かつては、NHKの看板番組である「ニュースセンター9時」のキャスターに抜擢され、スポットライトを浴びる。真摯な態度、誠実な人柄が見る人に好印象を与えその顔と名前が全国的にしられる人となる。昭和6年3月30日島根県に生まれる。昭和29年3月青山学院大学・



勝部領樹氏

英米文学科を卒業後、NHKに入局。記者として報道部に所属。松江、下関の勤務のあと、昭和34年東京社会部の記者に転じる。デスク、仙台報道課長を歴任の後、昭和52年「ニュースセンター9時」のキャスターを2年間務める。この間南極テレビ中継の取材団長として活躍。昭和54年「NHK特集」のキャスターとして石油、原子力、食糧、先端技術、コンピュータなどの特集番組を担当。国内はもとより、海外にまで足を運び、世界の情報を収集するとともにこの分野の研究、調査に精力

を注ぐ。昭和63年NHKを定年退職後、NHKエンタープライズに転じ、食糧、地方創造などのテーマで番組制作に従事し、現在に至る。かたわら、官公庁、経済団体、民間企業などで催される講演会の講師としても活躍する。「食糧、農業問題」「日本の実力、そのオモテとウラ」「世界の中の日本のポジション」「エネルギー問題」「コンピュータが世界を変える」「子どもからの赤信号」「高齢時代の備え」などの主たる講演テーマをもち、巾広く活躍する。イメージ通りの誠実さで、聞く人の立場に立った判りやすい講演は各地・各所で好評を博す。「南極取材記」「日本の条件・食糧」「技術大国の素顔」「ザ・デイ」(シリーズ9巻)「原子力」「コンピュータが世界を変える」他多数の共著をもつ。

珠算検定合格おめでとう

十一月十七日(日)商工会館において、第八十九回全国商工会珠算検定試験を行いました。

今回の受験者は百二十三名で、合格者は二十七名、合格率は二十二%でした。

合格者は次の皆さんです。

(敬称略)

三級 河合 裕佳

木下 正之

園原 信枝

美濃部由美

酒井 謙晃

原 亜沙美

四級 原 陽子

小松 歩美

五級 塚田 晃子

佐々木集仁

六級 原 梓

林 亜矢子

原 智恵子

塚田 晃子

河合美美子

田原恵美里

島岡 淳一

羽場崎久美

羽場崎恵美

七級 美濃部 誠

井原 哲夫

安藤 辰徳

木下 友子

羽場崎さとみ

熊谷 剛

野中 玲子

八級 谷口登紀子

次回(第九十回)の試験日は平成四年二月十六日(日)です。

て各種機器を実際に操作しながら、きめこまかな相談・指導を無料で行っております。

中小企業事業団 中小企業OAシステムセンター

〒105

東京都港区虎ノ門1-21-1

8 秀和第三虎ノ門ビル8F

☎03-3593-2191

お問い合わせ先

最寄りの中小企業地域情報センター又は左記までお願いいたします。

中小企業事業団 情報調査部

情報推進課

〒105

東京都港区虎ノ門3-5-1

37森ビル

☎03-5470-1518

(ダイヤルイン)

決算説明会のお知らせ

今年度の青色申告会、決算・年末調整の説明会は、十二月十八日(水)に、例年通り阿智村商工会館二階会議室に於て、開催されます。

当日は、年末調整に必要な書類や、決算書をお渡し致しますので、一事業所一名は必ず出席して下さい。

尚、対象事業所には、商工会より直接通知致します。

会報編集委員長 園原 峯正

事務局だより 情報化推進アドバイザー制度のご案内

コンピュータの導入及び、

中小企業の経営についての指

導経験を有する専門家を中小

企業事業団に「情報化推進ア

ドバイザー」として登録して

おります。中小企業の皆様に

コンピュータ導入等について

相談・指導について、お手伝

いする制度です。

△アドバイス・相談内容▽

・コンピュータを使って処理

する業務、効率的な使い方

について

・コンピュータの機種及び、

ソフトウェアの選び方につ

いて

・コンピュータを導入する時

の留意事項について

・情報ネットワークを構築す

る際の組織作り、ネットワ

ークの構築、システム設計

について

◎派遣制度のご利用について

・OA化等についてのお手伝

いするために、情報化推進

アドバイザーを派遣いたし

ます。

・前記のアドバイス・相談内

容を受けたい方は、最寄り

の地域情報センターを經由

してお申し込み下さい。

(無料で実施しています)

編集後記

工業部と建設部の合同事業で、行政側からの参加も願い、人口五十五万都市浜松の学習、遠州信濃会の役員の皆さんとの懇談につづき、山岳ハイテクタウン構想、三遠南信自動車道についての講演を聴く視察研修会に参加の機会を得ました。

浜松の見事な発展ぶり、これに取り組む住民の息遣いの様なものを肌で感じ、三遠南信自動車道の開通による信州の取り組みを今から腰を据えて考えないと風穴が開いて吸い出されてしまつては、と云う様な危機感さえ抱いて帰りました。

地域の特性、善さを再確認し、自分の地域を外に向けてアピールすること、その方法についての知恵を皆で出し合うことの大切さも教えられて来ました。

会報編集委員長 園原 峯正